

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)博多駅南2丁目ホテルプロジェクト	階数	地上14F
建設地	福岡県福岡市博多区博多駅南2丁目	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	355 人
地域区分	7地域	年間使用時間	6,935 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年5月 予定	評価の実施日	2017年2月20日
敷地面積	814 m <sup>2</sup>	作成者	薫田勝也
建築面積	666 m <sup>2</sup>	確認日	2017年3月1日
延床面積	5,543 m <sup>2</sup>	確認者	松下勝栄



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.4

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.6

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 空気環境の向上を図ることで利用者が快適に過ごせる様配慮した。また、高効率設備の導入や外皮熱負荷の抑制を図ることで、省エネルギーにも配慮する。		特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 全般的にF☆☆☆☆の建築材料を採用し、個室においては床面積の1/15以上の有効開口面積の自然換気性能によって空気質環境の向上に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 建物全体の壁長さ比率に余裕をもたせ、フレキシビリティ性の向上に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 歩行者、通行者からの視点を考慮し、エントランスに緑化を施すことで良好な環境を形成している。
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱性能に配慮し外皮熱負荷の抑制を図っている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水コマ、自動水栓の使用に加え節水型便器を採用し節水に配慮した。 解体時に躯体と仕上材が容易に分別可能となっている。(GL工法)	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量の削減に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される